

# 進路だより No1

今年度は教科学習や委員会活動等に取り組むことと並行して、卒業後の進路について「〇〇高等学校に進学したい」、「将来△△関係の仕事をしたい」といった目標を立て、目標を達成するために努力することも求められます。

まだ、考え始めていない人は、2年生の進路説明会の際に配付された資料や、高校の文化祭に行った経験、先輩から聞いた話などをもとに興味・関心を高め、高校のホームページなどにアクセスして情報を得ることから始めてみましょう。見当がつかないという人のために「卒業生の主な受検・受験先」を裏面に掲載しました。

例年、多くの先輩は公立（神奈川県立・横浜市立等）高校を第一希望にして私立高校を第二希望とする「併願受験」をしているので、公立・私立両方の情報を調べてみましょう。

4月に「進路希望予備調査」として、「就職」と「進学」のどちらにするのかを調査します。そして6月に「第1回進路希望調査用紙」を配付する予定なので、進学の場合は、できるだけ「志望校名」を記入できるように最低一校は学校訪問しておき、情報を得るようにしましょう。志望校が絞れていない場合は多くの学校が合同で行う「合同説明会」に参加し、色々な学校の話聞いてみる中で候補を見つけましょう。

「第1回進路希望調査用紙」の記入内容をもとに、7月に予定されている「三者面談」で、保護者の方や学級担任と進路志望先の話の本格的に始めるので、この時点で「候補がありません」や「説明会に参加していません」などということが無いようにしましょう。

「進路だより」などの進路に関する資料や、高等学校からいただいた「募集要項」などの資料は「進路ファイル」にとじこみ、いつでも確認できるようにしてください。公立高校は3年前から「公立高等学校入学者選抜」の方法が変更になり、共通選抜はインターネット（Web）出願になりました。今後、今年度の方法に関する資料も配付されるので、資料の管理が重要になります。また「進路希望調査」や「願書」等の個人情報に関わる書類は、後日配付する「カモフラージュホルダー」に入れて提出してもらうこととなります。

教科学習に関しては、目標を達成するために、「どの教科」の「どの分野」に力を入れるべきか優先順位を考えて、1，2年の教科書やワークなどを使って学習を進めていき、苦手教科や苦手分野の克服をめざしましょう。

「公立高等学校入学者選抜」では、「主体的に学習に取り組む態度」の重要性が増し、多くの学校では「充実した学校生活を過ごしている生徒」を求めているので、今まで以上に「主体的」に学習活動や委員会活動・部活動等に取り組み自信を深め、成果につなげましょう。（裏面あり）

## 保護者の皆さまへ

多くの学校で学校説明会や文化祭等が参加・見学できる機会を設けています。お子様と一緒に保護者の方も学校説明会や文化祭に訪問していただき、お子様にとって最適な進路先を見つけていただきたいと思います。

お子様にとって最適な進路選択ができるように、共進中学校職員全員で情報提供や支援をしていきます。一年間よろしくお願いたします。

5月8日（金）15時開始予定で「3学年進路説明会」を開催予定です。お忙しいことと思いますが、ご出席いただき、お子様の進路選択に役立てていただきたいと思います。

## 【卒業生の主な受検・受験先】

### 《県内公立高等学校》

#### <全日制>

県立 釜利谷 城郷 新栄 新羽 保土ヶ谷 舞岡 横浜栄 横浜清陵 横浜立野  
横浜南陵 横浜氷取沢 金沢総合 磯子工業 神奈川工業 他

市立 戸塚 みなと総合 横浜商業 他

<定時・通信制> 横浜総合 横浜修悠館 他

### 《私立高等学校》

鎌倉国際文理 秀英 湘南学院 湘南工科大学附属 清心女子（女子校） 日本大学  
白鵬女子（女子校） 武相（男子校） 三浦学苑 山手学院 横浜 横浜学園  
横浜清風 横浜創学館 横浜隼人 他

### 《サポート校・専修学校 他》

飛鳥未来 角川ドワンゴ クラーク記念国際 ヨコスカ調理製菓 他

記載した以外の学校を受検・受験した先輩もいます。

幅広く情報を集め、できるだけ多くの学校の「説明会」や「体験授業」、「文化祭」などに参加し、最適な志願先を見つけましょう。